



～子どもの幸福度と非認知能力～◇日本は世界14位！とのことですが・・・◇

今年の5月14日国連児童基金（ユニセフ）が子どもの幸福度ランキングを発表しました。この統計は「精神的幸福度」をはじめとした3分野から評価されているようで、日本は「身体的健康」で1位、「精神的幸福度」が32位、「スキル（学力と社会技能）」が12位だったそうです。さて皆さんは、この数字を見てどう思われましたか？たかが統計されど統計だとは思いますが、本市では、「スキル（学力と社会技能）」と「精神的幸福度」に深く関係する**非認知能力（やる気・集中力・自制心・自己肯定感）**に着目した教育活動を推進しています。特に「勉強がわかる。学校が楽しい。」という子どもたちの心の育ちを小学校4年生から毎年質問紙調査で確認し、それを授業や行事の工夫、何より様々な体験の場を、地域や企業の皆さんとも協力して推進しています。そして、まずは**全ての大人が子どもの成長に気づき、良いところを認めてあげる！そこがスタート**と私は考えています。

忘れられない夏になる

申込期間 6/9(月)まで延長!

洋上体験研修 参加者募集

前回もお知らせしました東海大学海洋調査研修船「望星丸」での洋上体験研修。大海原での海洋観測や、新島の大自然を味わう海水浴など、秦野市や清川村等の中学生100名の新しい仲間とともに、様々な体験ができる企画ですが、まだまだ募集枠があるようです。

子どもたちの魂に火をつけ、非認知能力を高める素晴らしい体験なので興味のある方はぜひ参加をご検討ください。

詳しくは市HPから

HPはこちら



昨年参加した生徒の感想です！

今回の洋上体験研修で学んだことは、団体行動の大切さや話し合いの大切さ、頼れる年上と大人の大切さ、時間を守ることの大切さ、ルールを守ることの大切さです。それを学び感じたことは、楽しむのも大切だけど切り替えが大切だということと、**今回学んだことはこれからの人生にも生かされるのではないか**ということです。

報徳サミットって何だろう

二宮尊徳にゆかりのある「全国報徳研究市町村協議会」に加盟している17市町村が集まり開催される「全国報徳サミット」。第30回となる令和7年度は、市制施行70周年記念事業として、**11月1日に秦野市で開催**されます。

全国報徳サミットが秦野市で開催されるに当たり、市のHPには秦野市の功労者である2名の功績についての動画がアップされていますので、是非御覧ください。また、「はだのっ子アワード体験活動部門」との連携事業として、報徳ゆかりの地などを、観光ボランティアガイドと一緒に巡り、**今年度限定の【体験活動部門報徳バージョン】の体験マップが完成する史跡巡りも6月29日（日）に企画**されています。市内在住の方であれば、お一人からでも参加（小学生は保護者同伴）できますので、是非この機会に報徳を学ぶ史跡巡りに参加してみませんか。

体験活動部門報徳バージョンについては、ここをクリック

ご応募お待ちしております。



子どもの理解と支援について～新たな視点 第1話～

教育雑誌を見ていたら、大きな病院に勤務されている心療内科のお医者様の不登校についての見解が載っていましたので、特に不登校の話としてではなく、子どもの理解と支援について新たな視点として私なりの解釈で今回から紹介していきます。子どもたちの中にはHSCという、とても**感受性の強い子ども**がいますが、これは**病気ではなく、個性に近いもので、実は私もそうかな**と思うことがあります。こうした特性をもつ人は、**学校の中で強い恐怖やストレスに直面した時に、戦うか逃げるのどちらもできない状態となり、まるで凍り付いたように活動が停止する現象**とのことでした。

さて、この続きは次回に・・・。